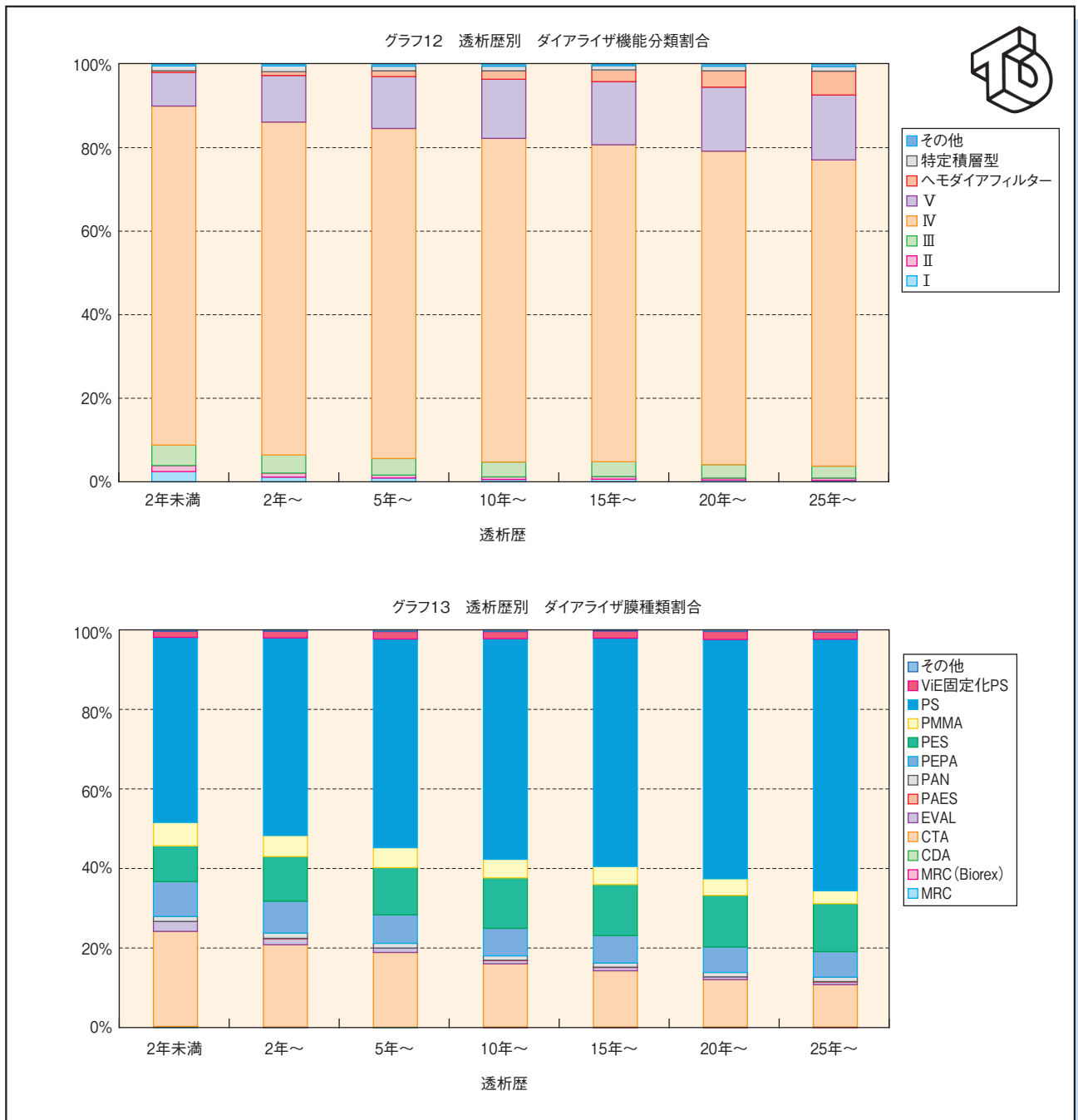


3) 患者背景による透析条件

(5) 患者透析歴と透析条件2 (ダイアライザ機能分類と膜種類) (図表34)



患者調査による集計

グラフ12 集計対象：223,736人

グラフ13 集計対象：223,736人

解説

ダイアライザ機能分類をみると、透析歴に関わらず、IV型の割合が多く、次いでV型であった。

透析歴の長い患者ほど、V型の割合が多くなっていた。

ダイアライザ膜種類別では、透析歴に関わらず、PS膜の割合が最も多かった。

透析歴が長くなるにつれて、CTA膜が減少し、PES膜の使用割合が多くなっていた。